



ドクターコールの判断基準、緊急事態の対応スキル 分娩期の異常の見極め方と 緊急時の対応ポイント



目の前で起こっている状況の把握、 これから辿る経過の予測と対処が分かる

※講義時間：約5時間

分娩第一期～第三期の異常時の見極め方と分娩経過ごとの押さえておきたい対応の基礎を解説します。症例展開で具体的に経過を追いながら、迅速、的確な判断につなげるための知識とスキルが身につきます。

古橋 円氏 医療法人葵鐘会 産婦人科顧問

1982年名古屋大学医学部医学科卒業後、半田市立半田病院産婦人科医師として勤務。1989年名古屋大学大学院医学研究科修了。その後ワシントン大学(米国)医学部リサーチアソシエートなどを経て、2001年より名古屋第一赤十字病院産婦人科に勤務。2017年より長良医療センター副院長・周産期診療部長。2021年より現職。日本産科婦人科学会産婦人科専門医。

録画配信 オンデマンド [配信開始日] 21年 4/28(水)～5/12(水)

※申込締切：21年4/22(木)
※4/16以降は代金引き換えでの教材発送となります。

参加料 一般 15,000円 会員 12,000円
税込 ※本セミナーは、講義時間約5時間の録画配信(オンデマンド)です。
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

プログラム

- 1. 分娩第一期での異常時の見極め方と対応の基礎**
羊水混濁/胎児心拍数モニタリングの異常
臍帯巻絡・下垂・脱出/発熱/微弱陣痛・過強陣痛
子宮破裂/遷延分娩・回旋異常/分娩の誘発
- 2. 分娩第二期での異常時の見極め方と対応の基礎**
肩甲難産/吸引分娩/双胎
- 3. 分娩第三期で異常時の見極め方と対応の基礎**
弛緩出血/頸管裂傷・膣会陰裂傷・血腫/子宮内反症
出血性ショック/子癇
- 4. 実践事例 症例・経過別でわかる 緊急時の対応ポイント**
現場でどのように判断・対応すべきか、イメージがつかめる。
●経膣分娩後に出血が止まらず血圧が急速に低下してきた
●妊娠子癇・分娩子癇 ●妊娠28週の妊婦が胃痛を訴えた
●経膣分娩後、外陰部が腫れて痛みを訴えた ●分娩による恥骨離開
●常位胎盤早期剥離 ●帝王切開後の下肢静脈血栓症・肺塞栓症
●双胎！児娩出後にII児が骨盤位で臍帯下垂
●Tachysystoleによる non-reassuring fetal status: NRFS (胎児機能不全)
●TOLAC妊婦の分娩誘導 癒着胎盤で出血性ショック
●癒着胎盤で子宮内反を生じ、子宮摘出術
ほか 実践例をもとに解説

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります ▶ 日総研 150960 [検索](#)

関連雑誌 隔月刊誌 (定期刊行物・会員制)

妊娠中・分娩時・出産後のケアと支援
臨床助産ケア

B5変型判 96頁 入会金 3,000円 年間購読料 17,310円(共に税込)

今後の特集

- 産む力を引き出す分娩テクニックとサポート [3-4月号]
女性の産む力を引き出す熟達助産師の経験知
会陰裂傷率が少ない助産ケア/不妊治療を経た出産のサポート
骨産道の可動に焦点を当てた産む力を引き出すポイント など
- 妊産婦の不安や疲れ解消へのアプローチ [5-6月号]

16年連続合格者数全国No.1!
厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所
社会福祉士養成所 通信課程
4月開講! 募集要項はダウンロードできます
[日総研 社会福祉士](#) [検索](#)

日総研 接遇大賞 優れたサービス
取り組みを表彰
応募は9月30日まで。発表は11月。
取り組み事例の紹介記事はこちら
[接遇大賞](#) [検索](#)

お問合せ TEL: 0120-054977 URL: www.nissoken.com [日総研](#) [検索](#)